

式辞

本日ここに、保護者会、後援会、同窓会の各会長様をはじめとするご来賓の方々、並びに保護者の皆様をお迎えし、前橋育英高等学校の第64回入学式を挙行できますことを、本校の教職員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました509名の皆さん、入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様におかれましては、お子様が健やかに成長し高校生になった喜びは、ひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

本校は、1963年に開校し、今年64年目を迎えますが、この間一貫して建学の精神の基、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出し、開花させることを目指しています。この成果は着々と積み重ねられ、現在、全国レベルで活躍する部活動があるなど、スポーツ強豪校として、また、進路面においても各コースに応じた実績を上げている学校として広く知られる存在になりました。卒業生は2万8千人を超え、県内はもとより、全国、そして世界各地の様々な分野で活躍しているところであります。

さて、新入生の皆さんは、本日、本校で新しいスタートを切ります。これからの3年間は皆さんの人生の土台を創る貴重な3年間となります。この高校生活を実りあるものにするためには、「夢を持ち、自分の人生の主演となって歩むこと」がとても大切だと思っています。

まず、夢を持つことについてですが、夢は、ほとんどの人が叶えられずに終わると聞かことがあります。しかし、そうだとすれば私は、そのほとんど人が夢を追う途中で諦めてしまうからだと思っています。夢が叶うまで追い続けられる人が一握りなのです。夢は諦めない限り実現の可能性があると思っています。皆さんには、本校で夢の実現のために一步一步着実に前に進むことを期待します。

次に自分の人生の主演になることについて、一言で言えば、自分の言動に責任を持ち、他人に責任を転嫁しないということであると考えます。自らの頭で考え、判断・決断し、責任をとる覚悟をもって行動できる人間になることであると考えます。皆さんには脇役になる人生を歩むことなく、地に足をつけ、主演として正々堂々と高校生活を送ってほしいと願っています。

本校では、皆さんの充実した高校生活の実現のため、国際理解教育の充実など、今後も多様なニーズに応えられる特色ある教育を推進していく所存であります。その一環として、昨年度から希望者に対してアメリカ・ロサンゼルス研修を始めました。また、DXハイスクールの取組として「前育クリエイションラボ」をスタートさせ、デジタルクリエイターやプログラマー育成のための環境を整えました。今年度からは日本の大学に在籍している数多くの留学生に來校してもらい、校内でも留学しているような環境を整えた、グローバル・スタディーズ・プログラム、いわゆる校内留学を開始します。これらの取組に新入生の皆さんにも積極的に参加してもらい、夢の実現に向かって、着々と歩みを進めてほしいと思います。

最後に、新入生の皆さんがこの日を迎えることができたのは、皆さん自身の努力はもちろん、ご家族や地域の方々、小中学校の先生方などさまざまな人達に支えられたからこそだと思います。その方達への感謝の気持ちを忘れず、自分を大切にして、責任と思いやりのある高校生になってください。そして、将来は、仲間と共に世の中を創って行くことができる人間になってほしいと願っています。我々教職員は全力で皆さんを応援します。

結びになりますが、ご来賓並びに保護者の皆様に、本校の教育活動に対する特段のご支援・ご協力をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和8年4月8日

学校法人群馬育英学園
前橋育英高等学校
校長 二渡 諭司